議会だより

あっさぶ

平成30年５月

No.99

題字は、厚沢部保育所 たんぽぽ組の　澁田（シブタ）　遼（リョウ）さんです。

4月6日（金）　厚沢部中学校入学式

STOP！！ジャガイモシストセンチュウ

～日本一のブランド「あっさぶメークイン」を守ろう！～

平成30年度当初予算を可決
一般会計予算は前年度対比23・8％増の46億8300万円

第1回定例会が3月6日から9日までの4日間開かれ、新年度予算案などを審議し、いずれも原案どおり可決しました。

補正予算 29年度

3月定例会では7会計の補正予算が審議され、いずれも原案どおり可決されました。

一般会計

歳入歳出に2億7969万7千円を追加し、総額43億8144万1千円となりました。

事務事業の完了または所要見込額を勘案し、増減調整が図られています。追加された主なものは次のとおりです。

（各会計の補正額は次頁一覧表を参照）

質疑応答（要旨のみ）

問　いきいきふるさと推進事業助成金について内容を教えてください。

答　北海道振興協会助成事業の助成金であり、出会い賑わい元気づくり事業費へ99万円、大学との連携による高齢者健康促進事業費へ50万円、国際交流ホームステイ促進事業費へ53万円、統合中学校の校歌・校章作成事業費等に68万円、それぞれに充当されています。

問　スクールバス購入費が減額されていますが、内容を教えて下さい。

答　入札による減額で、既に契約も終了しています。29人乗りバスが館、鶉地区それぞれ1台ずつ配置されます。

- **北海道派遣職員給与費負担金**　（1027万4千円）
- **公共施設整備基金積立金**　（1億7000万円）
- **減債基金積立金**　（1億4600万円）
- **ふるさとづくり基金寄附積立金**　（145万円）
- **国民健康保険事業特別会計繰出金**（1037万3千円）
- **国保病院事業特別会計繰出金**　（4801万1千円）
- **除排雪作業委託料**　（3000万円）

国保会計

保険財政共同安定化事業拠出金など696万6千円を減額し、総額7億1063万7千円となりました。

後期高齢者医療会計

北海道後期高齢者医療広域連合負担金など73万5千円を追加し、総額6494万7千円となりました。

介護保険会計

保険事業勘定は地域密着型介護サービス等給付費など713万1千円を減額し、総額6億2223万8千円となりました。

簡易水道会計

簡易水道施設整備事業費負担金など1173万4千円を減額し、総額1億6548万円となりました。

農業集落排水会計

40万8千円を減額し、総額2億8380万6千円となりました。

国保病院会計

収益的収入及び支出について臨時職員賃金など2570万6千円を減額し、予定額4億9293万9千円、資本的収入及び支出について154万2千円を減額し、予定額518万5千円となりました。

各会計補正予算額一覧表

会計名＼区分		補正額	補正後の額
一般会計		2億7969万7千円	43億8144万1千円
国民健康保険事業特別会計		△ 696万6千円	7億1063万7千円
後期高齢者医療特別会計		73万5千円	6494万7千円
介護保険事業特別会計 保険事業勘定		△ 713万1千円	6億2223万8千円
簡易水道事業特別会計		△1173万4千円	1億6548万円
農業集落排水事業特別会計		△ 40万8千円	2億8380万6千円
国民健康保険病院事業特別会計	収益的収入及び支出	△2570万6千円	4億9293万9千円
	資本的収入及び支出	△ 154万2千円	518万5千円

条例

●厚沢部町移住体験住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

●職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

●厚沢部町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

●厚沢部町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定

●厚沢部町介護保険条例の一部を改正する条例の制定

●厚沢部町指定地域密着型サービス事業者の指定に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例の制定

●厚沢部町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定

●厚沢部町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定

●厚沢部町農業集落排水施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

質疑応答（要旨のみ）

問 水道料金の値上げについて、標準世帯での負担増はどのくらいになりますか。

答 約20パーセントの値上げとなります。根拠としては水道設備の更新を7年間で実施する予定で、総額約21億円の事業となります。事業費のうち町単独での負担分を考慮すると、約40パーセントの値上げをしなければなりませんが、道内各自治体の例と比較して、20パーセントの負担増と試算しました。一般的な家庭で一カ月の使用量を15㎥とし、2，240円の水道料金が510円上がり、2，750円となります。

指定管理者の指定

●移住体験住宅の指定管理者の指定

●うずら温泉宿泊施設の指定管理者の指定

●まちなか交流センターの指定管理者の指定

町道路線の変更

●峠下五葉松線（延長の変更）

●鶉西中館線（幅員の変更）

●厚沢部中学校前団地4号線（路線名を総合給食センター線に変更、延長・幅員の変更）

人事

任期満了に伴う人権擁護委員の推薦について、太田滋子さん（本町）を推薦することに同意しました。

まちづくりに使うお金をチェック

平成30年度各会計予算について、予算審議特別委員会に付託し、3月7日～9日の3日間審議され、各会計とも原案どおり可決されました。

本特別委員会で交わされた主な質疑の内容を要約してお知らせします。

一般会計

問　町税収入未済に対する取組みについて教えてください。

答　納期が過ぎても納付がない場合は、第一段階として督促状を発送します。その次の段階としては、電話での連絡や戸別訪問により納付を促しています。それでも納付されない場合は、催告書の送付、最終的には滞納整理機構へ引継ぐこととなります。

問　地方交付税が昨年度より減額されていますが、理由を教えてください。

答　国の地方財政対策等を考慮して2パーセント減額としました。

問　地域づくり総合交付金事業のパスポート発給申請機器整備事業費について説明してください。

答　パスポートの発給は今まで檜山振興局で行っていましたが、北海道からの権限移譲ということで、関連機器を整備しました。これから、役場窓口で手続きをしてもらえれば、パスポートが出来上がりしだい、受取ることも可能です。

問　ふるさと納税委託料について、歳入で1，000万円、歳出で600万円計上されていますが、委託業者に最初から支払いするのか、実績払いとするのか教えてください。

答　返礼品、送料及び委託業者の手数料等全ての経費を含めて約6割程度と試算しました。委託料は、実績に対し支払われます。

問　北海道田舎活性化協議会負担金について、昨年度の5万円から40万円の増額となっていますが、理由を教えてください。

答　道内の10町（厚沢部町、厚真町、浦河町、上川町、喜茂別町、鹿部町、松前町、美幌町、新得町、利尻町）で事業に取り組んでいます。会費分が5万円であり、新年度は全国に向けて、情報発信していくため、パンフレット作成やその他PR活動のための経費として、35万円プラスとなりました。

問　町有林監視員報酬が計上されていますが、何人でやられているのですか。

答　町内5地区でそれぞれ1名ずつ配置されています。主な職務は、町有林が違法に伐採されていないかの確認、林道等の状況確認です。報酬は担当する山林の面積により、定額の部分とプラス面積割となっています。

問　素敵な過疎づくり㈱（以下、「会社」という）が今後道の駅を運営しますが、具体的な運営方法と、どのような体制で進めていくのか、説明願いたいのですが。

答　これまで運営主体であった観光協会から会社に移管されることになりました。これまでどおり観光協会事務局長、パート職員ともにほぼ現状と変わらない業務内容であると考えています。また、販路や仕入先の拡大又は経理事務等についても、会社がこれまで培ったノウハウを最大限活用できるというメリットがあります。

問　吹雪による町道の通行止めの周知について

答　町ホームページで周知しています。なお、国道、道道についても、同様の方法となっています。

問　厚沢部小学校でスタートするコミュニティ・スクールの内容について具体的に説明願いたいのですが。

答　学校の運営・課題に対して広く保護者や地域住民が参

画できるという取組みです。具体的には、学校運営協議会を設置して、保護者や地域の意見を学校運営に反映させていくことが目的です。

問　学力向上対策事業について、電子機器を活用するとありますが、教職員のスキルアップはどのように図っていくのか教えてください。

答　教職員がタブレットを活用し指導方法等の改善、授業に創意工夫を図ることが目的です。教職員のスキルアップについては、先進地の札幌市周辺で研修視察を実施予定です。

問　教育長の執行方針の中で各小中学校にホームページやブログの開設といったことにふれていましたが、どのような内容で進めていくのか、詳細を教えて下さい。

答　町内各小学校、厚沢部中学校でホームページを開設して、行事等の情報発信をしていきたいと考えています。

問　総務文教常任委員会所管事務調査で、厚沢部中学校舎の現地視察を実施しました。老朽化が著しく、特に建物の繋ぎ目部分の雨漏りを修繕してほしいとの意見もあったところですが、工事費予算に反映されていますか。

答　平成30年度に校舎外壁の塗装工事が予定されており、その際にコーキング等を施し、できる限りの対応をしたいと考えています。今後も校舎の維持管理については、要望があれば速やかに対応したいと思います。

問　文化講演会が毎年開催されていますが、参加者が少ないと感じます。昨年の出席者数と今後の対応を教えてください。

答　平成29年度の文化講演会については、5月に実施して出席者は約60人でした。今後は、少しでも多くの方々が参加できるように、企画を検討していきます。

平成30年度　予算額一覧表

区分 / 会計名			平成30年度当初予算額	平成29年度当初予算額	増減率
一般会計			46億8300万円	37億8400円	23.8%
特別会計	国保会計		5億7931万8千円	7億1408万8千円	△18.9%
	後期高齢者医療会計		7031万3千円	6421万2千円	9.5%
	介護保険会計	保険事業勘定	6億3241万5千円	6億1997万4千円	2.0%
		サービス事業勘定	168万6千円	127万円	32.8%
	簡易水道会計		4億1474万2千円	1億7528万9千円	136.6%
	集落排水会計		2億1515万5千円	2億8161万6千円	△23.6%
病院会計			5億1111万1千円	5億2537万2千円	△2.7%
合計			71億774万円	61億6582万1千円	15.3%

一般質問

～聞いてみたい、こんなこと～

質問　1

安心な暮らしへの情報発信について

町と地域コミュニティを中心とした情報伝達を

佐々木宏議員

渋田町長

佐々木議員

問　幅広く住民に情報を届けるには、紙媒体とネットのみでは不十分であり、新たなる情報の配信体制整備が必要だと思います。

①厚沢部・鶉・館地区への配布実態（町内会数・班体制）はどのようになっていますか。

②Ｊアラート伝達の手段はどのように考えていますか。

③民間が実施しているポスティングサービスの活用は考えていませんか。

④有線ラジオ放送の考え方について教えて下さい。

⑤全世帯に個別受信機の設置について考えていませんか。

答

①厚沢部地区９町内会１１７班、館地区７町内会58班、鶉地区４町内会47班です。町内全体で１，７１６部各戸配布しています。

②消防防災無線吹鳴装置を利用して伝達しています。

③公的な回覧や各戸配布は各地区駐在員・班長を経由して届けられており、地域住民同士のコミュニティが図られる手段の一つとなっています。民間会社を活用した情報伝達という方法は考えていません。

④・⑤膨大な経費がかかるため、考えていません。自然災害やミサイル発射等には、消防防災無線吹鳴装置を活用するほか、時間的余裕がある場合は、広報車等による周知も併せて行います。

質問1 地域振興対策について

中山俊勝議員

人口減少を防ぎ、魅力ある農林業のまちづくりを目指す

渋田町長

中山議員

問 ①鶉・館中学校の閉校後の利活用と両地区の地域振興はどのように考えていますか。

②空き家・廃屋対策はどのように考えていますか。

③地域集落の維持・発展はどのように考えていますか。

④農地の集約化・農業振興はどのように考えていますか。

答 ①具体的にはまだ決まっていませんが、農作物のキュアリング施設や災害用品の備蓄、町内会等の団体活動、子ども達の学習の場としての利用等が考えられ、その他にも地域の要望に沿った活用を図りたいと思います。

②増加傾向にある空き家は、景観や生活環境の保全、防犯、防災の面から大きな問題となっています。所有者が自ら管理することが原則であり、危険を及ぼす可能性がある空き家については、解体等の指導を行います。

③小学生や大学生との交流やCCRCの対策などを進めていますが、企業誘致・雇用機会等の創出や、結婚・出産・育児への支援等の子育て環境の整備を進めながら、基幹産業である農林業の若い担い手の確保が重要だと考えています。

④限られた労働力の中でも効率的な農業経営が維持できる対策として、農地を集約させて効率的な農作業体系を構築する取り組みが重要であり、強い産地体制を維持しながら地域を持続的に発展させるため、各制度や補助事業を活用して支援していきたいと考えています。

質問2 地域ブランドの確立と種子法改正について

早期のブランド確立を目指す

問 ①地理的表示保護制度を利用して、メークインを知的財産として保護することについて、取組みの進捗状況を教えてください。

②種子法改正による当町農業への影響について教えてください。

答 ①厚沢部メークインのブランド確立に向けて、第一に地域団体商標の登録が確実な方法であるとして調査しており、早期の登録に向けて農協と協議しています。

②種子法改正は、米・麦・大豆の主要な農作物に限定されており、馬鈴しょについては今後も安定的な供給が予想されます。今後は、農産物の生産に、厳重な栽培管理、種子管理が必要であると考えています。

質問1 人口減少問題対策について

山崎孝議員

財政状況を考慮しながら子育て支援の充実を

渋田町長

山崎議員

問 人口減少は地域の活力を低下させ、町の発展を停滞させます。人口減少により起こり得る事態を長期的展望に立ち、想像し、どう対策を立て、町民と行政が一体となって議論・行動するかが大事であると考えます。人口減少時代を迎え、生き残る方策はどうあるべきか、人口減少対策について町長の所見を伺います。

答 町の財政状況や町民負担のバランスを考慮しながら、結婚支援・雇用機会の創出・住宅・子育て・教育の分野で若者が定住し、生活しやすい環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。

質問2 空き家対策特別措置法の取組みについて

問 人口減少とともに空き家の増

加が目立ってきました。
①町内の空き家の状況を把握されていますか。
②空き家対策特別措置法に基づく対策計画はどのようになっていますか。
③空き家の再活用計画はありますか。

関係機関へ情報提供し、空き家の利活用を促す

答
①142戸あり、解体が必要なものが23戸、修繕が必要なものが60戸、状態の良いものが59戸あります。
②現時点では定めていません。
③空き家所有者に北海道空き家情報バンクへの情報提供や移住住みかえ支援機構への登録を促したいと考えています。

質問3　公営塾開設運営に向けた構想について

問
道内では学習塾が無い自治体を中心に公営塾を開設する動きが広がりをみせていますが、公営塾開設運営に対する構想について町長の所見を伺います。

都市部の塾との差別化を図る

答
通常の教科だけを教えるのではなく、地域の課題に向き合いながら、課題解決能力や企画力を身につけて、郷土愛を育むことにより有能な若者のUターンにつながるのではないかと考えています。そのために、過疎地域での実績がある事業者に力を借りた運営を目指しています。

委員会活動

総務文教・産業厚生の各常任委員会で行った所管事務調査の内容をお知らせします。

○総務文教常任委員会

第3回調査日　1月23日

1　総合給食センターの現地確認と運営状況について

総合給食センターについて現地確認を実施し、運営状況について資料により説明を受けた。学校給食については1日約350食、高齢者宅配弁当については1日約50食、また平成30年度からは保育所給食を1日約100食提供するとのことであり、災害時の炊出しも含めると最大で1日約1，000食の調理が可能とのことであった。食材についても地元産の使用量が半分以上であり、北海道産も併せるとほぼ100パーセントとなっている。今後は、町内の関係団体とも連携して、コストを下げる食材調達も検討すべきである。食材の調達については、学校給食は町が発注し、高齢者宅配弁当についてはハーベスト㈱が発注しているのが現状である。保管庫、調理場所は分けているとのことであるが、建物が明確に分離されていないので食材の混同又は流用されることがないよう、発注、納品の確認及び食材の管理は特に厳格に行うべきである。

2　統合中学校校舎の現地確認について

平成30年4月に町内の3中学校を統合しスタートする、厚沢部中学校校舎の現地確認を実施した。建築後約40年が経過し、外壁・内装において多くの場所で劣化がみられ、老朽化が相当進んでいる。平成30年度で外壁塗装を実施予定とのことだが、校舎の繋ぎ目部分等で雨漏りしている箇所もあり早急に対処する必要がある。当面は現校舎を使うことが予想されることから、今後は大がかりな修繕も必要な時期と考えられる。

○産業厚生常任委員会

第3回調査日1月9日

1　総合給食センター整備運営配送事業の進捗状況について

総合給食センター整備運営配送事業の進捗状況について資料説明を受けた。現在、学校給食・高齢者宅配弁当を提供しており、平成30年度から保育所給食も開始する予定である。学校給食・高齢者宅配弁当共に好評とのことであり、今後も栄養教諭や栄養士、調理員等との連携を密にするほか、学校や保育所から定期的に情報収集を行い、適切な運営を望むところである。

意見書を提出しました

第1回定例会で意見書1件を原案どおり可決し、関係省庁に提出しました。（内容省略）

●地方公務員法及び地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書

提出先　内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣

主な議会のうごき

（１２月定例会後から３月定例会まで）

月日		主要事項	
12	14	第６回町議会議員協議会（第１会議室）	議員、事務局出席
1	4	厚沢部消防団出初式（町民交流センター）	議員出席
	5	厚沢部町成人式（町民交流センター）	議員出席
	9	産業厚生常任委員会所管事務調査（議員控室）	委員、事務局出席
		新年交礼会（町民交流センター）	議員、事務局長出席
	10	議会広報編集特別委員会（議員控室）	委員、事務局出席
	14	新春鹿子舞交流会（町民交流センター）	議員出席
	18	檜山町村議会定例議長会（江差町役場）	議長、事務局長出席
	19	議会広報編集特別委員会（議員控室）	委員、事務局出席
	21	厚沢部町 PTA 連合会研究大会（町民交流センター）	議員出席
	22	産業厚生常任委員会（議員控室）	委員、事務局出席
	23	総務文教常任委員会所管事務調査（議員控室外）	委員、議長、事務局出席
		議会報告会（館地域振興センター）	議員、事務局出席
	24	議会報告会（鶉地区研修センター）	議員、事務局出席
	25	議会報告会（町民交流センター）	議員、事務局出席
	26	議会運営員会（議員控室）	委員、正副議長、事務局出席
		第１回町議会臨時会招集（議場）	議員、事務局出席
	28	厚沢部町立鶉中学校閉校記念式典（鶉中学校体育館・鶉地区多目的研修センター）	議員出席
2	2	議会広報編集特別委員会（議員控室）	委員、事務局出席
	3	函館厚沢部会総会（函館市）	中山議員、只野議員、松村議員出席
	7	檜山管内町村議会議員研修会（町民交流センター）	議員、事務局出席
	15	議会運営委員会（議員控室）	委員、正副議長、事務局出席
		第２回町議会臨時会招集（議場）	議員、事務局出席
	18	厚沢部町立館中学校閉校記念式典（館中学校体育館・館地域振興センター）	議員出席
	19	厚沢部町議会議員・農業委員会委員研修会（第１会議室）	議員、事務局出席
	28	議会運営委員会（議員控室）	委員、正副議長、事務局出席
3	6	第１回町議会定例会招集（議場）	議員、事務局出席

まちの議会を傍聴してみませんか

町政はあなたのために

次の定例会は６月１４日からです。

手続きは、議会事務局備え付けの傍聴者名簿に
住所・氏名を記入するだけです。

編集後記

平成29年30年と美和小を始め、3中学校が閉校致しました。美和小は別として各中学校は71年間での閉校で、木造校舎からコンクリート造りと工夫がなされた校舎であり、私自身、木造校舎より経験がなく、暖は石炭ストーブ、もちろん給食等なく昼近くになると弁当をストーブの下に入れ温める訳ですが、中に沢庵等入っていると教室中臭いが充満していた事が思い出されます。その当時で1学年3クラスあり、１００名以上おりました。そしてこの4月6日新生厚沢部中学校の開校式・入学式に参列し、新1年生が26名、全校で86名と少子化がいかに進んでいるかと思いました。昨年と違う所は中学生の姿が見えないのです。いつも自転車で倉庫前を通る中学生がバス通学で顔を見る事が出来ない訳で、やはりさみしい限りです。館・鶉地区の青と緑の通学バスの運転手さん、安全運転でお願い致します。

（た）

議会広報編集特別委員会
委員長　松村　松雄
副委員長　只野　勲
委員　浜塚　久好
委員　下川部洋伸

発行　厚沢部町議会／編集　議会広報編集特別委員会／〒 043-1113 檜山郡厚沢部町新町 207　TEL 0139-64-3317　FAX 0139-67-2815